

卒業に必要な単位数（卒業要件）

国際学部が開設する授業科目は、大きく「**教養教育科目**」と「**専門教育科目**」に分けられ、これらの科目はさらに小さく区分されています。卒業するためには、合計で124単位以上が必要ですが、それぞれの科目区分ごとに取らなければならない単位数があり、このルールを守らなければ卒業することはできません。

なお、それぞれの科目区分から取るべき単位数を越えて修得した単位は、「**自由選択科目**」としてカウントされます。

国際文化学科

授業科目の区分			単位数	備考	
国際文化学科	教養教育科目	共通コア科目	アカデミックスキル科目	8単位以上	42単位以上
			ライフデザイン科目	2単位以上	
			思想と論理科目	2単位以上	
			沖縄理解科目	2単位以上	
			健康スポーツ科目	2単位以上	
		共通選択科目	外国語科目	10単位以上	
			国際理解科目	4単位以上	
			人文科学科目	4単位以上	
	専門教育科目	専門基礎科目	専門基礎科目	14単位以上	66単位以上
			専門発展・応用科目	40単位以上	
			演習科目	12単位以上	
	自由選択科目	自由選択科目	16単位以上	16単位以上	
	合計			124単位以上	124単位以上

重要：「単位数欄」の「00単位以上」の履修を守らなければ、仮に「備考欄」の最後の行にある124単位を修得しても卒業できません。

国際観光産業学科

授業科目の区分		単位数	備考		
国際観光産業学科	教養教育科目	共通コア科目	アカデミックスキル科目	8単位以上	42単位以上
			ライフデザイン科目	2単位以上	
			思想と論理科目	2単位以上	
			沖縄理解科目	2単位以上	
			健康スポーツ科目	2単位以上	
		共通選択科目	外国語科目	10単位以上	
			国際理解科目	4単位以上	
			人文科学科目	4単位以上	
			社会科学科目	4単位以上	
			自然科学科目	4単位以上	
	専門教育科目	専門基礎科目	必修	6単位以上	66単位以上
			選択必修、選択	8単位以上	
		専門発展・応用科目	必修	8単位以上	
			選択必修、選択	32単位以上	
演習科目		12単位以上			
自由選択科目		16単位以上	16単位以上		
合計			124単位以上	124単位以上	

重要：「単位数欄」の「00 単位以上」の履修を守らなければ、仮に「備考欄」の最後の行にある 124 単位を修得しても卒業できません。

成績評価の対象（「欠席及び成績評価の対象等に関する申合せ」参照）

学生は登録した科目の授業に出席しなければなりません。

本学における成績評価の対象は、原則として授業時間の3分の2以上出席した者とされています。

成績評価とGPA

本学の評価基準は次のとおりです。成績評価は、学則第16条に基づき規定されており、59点以下は不可とし、再履修の対象となります。

また、本学ではGPA（科目成績平均値：Grade Point Average グレード・ポイント・アベレージ）制度を導入しています。GPA は次のようにして算出されます。

$$\text{GPA} = \frac{(\text{修得単位数} \times \text{成績値}) \text{の合計}}{\text{履修登録科目の単位数合計}}$$

成績評価	評価点	GPA
秀	90点 ~ 100点	4
優	80点 ~ 89点	3
良	70点 ~ 79点	2
可	60点 ~ 69点	1
不可	0点 ~ 59点	0

GPAは大学の奨学金の判断基準となることや、教職希望者の教育実習および協定校留学等の可否を決める審査等に利用されます。学期末に配付される成績表にGPAが記載されています。GPAアップを学修目標のひとつとして活用します。

シラバス

シラバスは、履修計画を作成する上で重要な資料です。シラバスとは、授業の目標、授業で扱う内容、授業の進め方、評価方法など授業の全体像を示す文書のことです。シラバスには、授業選択のガイド、掲載された教育内容を提供するという学生と大学間の合意事項、学修効果を高める文書、授業全体をデザインする文書、カリキュラムに一貫性をもたせるツール（前提科目、前提条件の提示など）など様々な役割があります。

名桜大学のシラバスには、次の14項目、①科目名、②担当教員名、③担当教員のメールアドレスと研究室、④取得単位数、⑤開講学期、⑥登録人数、⑦オフィスアワー、⑧授業の概要、⑨到達目標、⑩授業の計画と内容と事前・授業学修、⑪テキスト・参考文献、⑫成績評価の方法、⑬履修の条件、⑭その他（講義に臨む姿勢）が記載されています。

特に重要な次の8項目（授業の概要、到達目標、授業計画の内容、テキスト・参考文献、事前・事後学修、成績評価の方法、履修の条件、その他）の簡単な説明を表に示します。

項目	説明
① 授業の概要	授業の概要や目的
② 到達目標	授業終了時に身につけて欲しい知識・技能・態度
③ 授業計画と内容	各授業の内容や時間外学修内容の提示
④ テキスト・参考文献	指定教科書や参考になる本や文献のリスト
⑤ 事前・事後学修	毎回の授業での予習・復習方法
⑥ 成績評価の方法	具体的な評価の基準
⑦ 履修の条件	前提科目や前提条件、履修するのが望ましい科目の提示
⑧ その他	受講上の注意事項、授業のルールなど

シラバスは事前登録に必要なうえ、授業の目標や内容だけでなく、必要なテキスト、講義に臨む姿勢など、詳細な内容が示されています。履修する科目の授業内容や進度を確認し、次回の授業準備や予習にはシラバスは欠かせないものです。このように、シラバスを有効に活用することは、学修効果的に進めることにつながります。シラバスは本学のWebサイトUNIVERSAL PASSPORT上に掲載されています。